

研究課題名	顔面骨折における ZS と FISS の頭部外傷識別能の比較検討
実施責任者	所属・職名：歯科口腔外科 医長
	氏名：林 宏紀
研究の概要	顔面の骨折では頭部損傷を合併することがあり、初診時の重症度評価が大切です。顔面の骨折した部位から計測する ZS (Zeeshan and Simon maxillofacial trauma score)、FISS (Facial Injury Severity Scale) は手術時間や集中治療室への入室と関連することが報告されていますが、頭部損傷との関連は不明です。本研究では ZS および FISS の頭部損傷について検討します。
対象となる個人情報	性別、年齢、既往歴、内服歴、入院期間、受傷原因、受傷部位、高エネルギー外傷の有無、ZS、MFISS(maxillofacial injury severity score)、FISS、AIS(Abbreviated Injury Scale)、ISS(Injury Severity Score)、GCS(Glasgow Coma Scale)、RTS(revised trauma score)、SI(Shock Index)
実施の期間	西暦 2009 年 1 月 1 日より
	西暦 2025 年 12 月 31 日まで
研究対象	当科において顔面骨折にて入院された患者のうち、ZS、FISS、頭部外傷の記録を確認出来た患者を対象とします。